

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-839-2660
	基本事業	文化財の調査、整備、管理		事業実施主体	市
	事務事業	高松城跡等整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理に努める。天守や桜御門などの復元に向けて資料調査を行い、復元整備に努める。			
29年度概要	桜御門復元工事 披雲閣蘇鉄の間耐震診断業務委託 鶴橋北側石垣修理工事 発掘・会議費等			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	


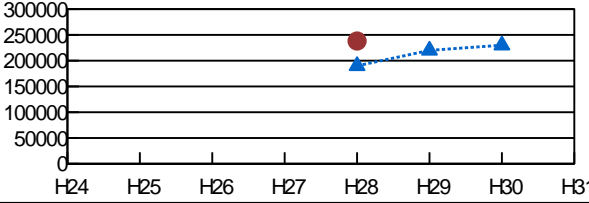

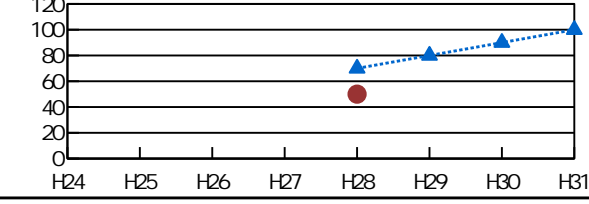
【事業の目的】

対象(何を)	市民・観光客、整備対象文化財
意図(どのような状態にしたいか)	貴重な文化財である高松城跡の保存修理や復元整備を行い、史跡高松城跡の価値を顕在化するとともに、来場者数の増加に努める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
史跡高松城跡の保存修理・復元箇所数	箇所			2	2	3

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
玉藻公園の年間入園者数	人	目標値			190,000	220,000	190,000
		実績値			238,146		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 史跡整備の推進により玉藻公園の景観向上に寄与することができ、目標値を大幅に上回った入園者数の増加を達成した。 	300000	(目標達成度)					(達成度) 125.3%
							35点
桜御門の復元	%	目標値			70	80	100
		実績値			50		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 工事期間が当初想定よりも長期間必要となったため、設定した目標値を下回る結果となった。 	120	(目標達成度)					(達成度) 71.4%
							24点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	136,408	100,000	98,190	49,228
(事業費)	[千円]	127,182	90,774	82,488	28,030
(職員人件費)	[千円]	9,226	9,226	15,702	21,198

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

披雲閣耐震補強については、建造物の価値を損なわずに耐震性を確保する工法を文化庁及び史跡高松城跡建造物整備会議と協議しながら定める必要があり、技術的な課題が大きい。方針としては来場者の安全性確保のため、耐震補強を実施する方針である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

重要文化財披雲閣の耐震補強は、利用者の安全確保の面からも最重要課題であり、早急かつ着実に実施する。あわせて、桜御門復元整備事業も、早期の完成を目指す。